



ない。下部は墨で塗りつぶされている。

9 関係文献

葛飾区葛西城址調査会『葛西城 葛西城址発掘調査報告書』(一
九八三年)

(永越信吾(葛飾区教育委員会))

『平城京漆紙文書』一
(奈良文化財研究所史料第六九冊) の刊行

本書は、平城宮跡及び平城京跡から出土した漆紙文書五六点（大和郡山市教育委員会担当分を含む）を収録した報告書である。都城出土の漆紙文書の図録としては初めてのものとなる。新たに接続や出典の判明したものや、西隆寺出土のもののように今回初めて公表されるものも含まれる。

図版編には、可視光原寸大モノクロ写真を掲載するほか、赤外線デジタルカメラまたは赤外線ビデオカメラで撮影した画像を加え、遺物としてまた文字資料としてもつ漆紙文書の情報を十全に伝えるべく配慮されている。解説編では、一点ごとの詳細な解説のほか、総説において反古紙の入手経路について個別に検討し漆紙文書の史料学的位置付けを考える素材を提供する。都城の漆紙文書は、このほか奈良市教育委員会担当の平城京跡の調査や、長岡宮・京跡でも着実に事例が蓄積されつつあり、漆紙文書が普遍的な遺物であることが明確になつたといえよう。

市販は左記の通り。

奈良文化財研究所編『平城京漆紙文書』一 A4判 本文七八頁
図版二八ページ、東京大学出版会刊 六三〇〇円（税込み）